

## 客員教授紹介

### 円借款業務と大学の戦略的連携

国際協力銀行(JBIC) 松澤 猛男  
客員教授第I種(任期:2004年4月6日~2005年3月31日)

円借款における農業分野の支援は貧困削減や住民参加といった幅広いものになっており、厳しい財政事情も踏まえ、戦略性を高めています。開発途上国は、農学研究の素材提供の宝庫であるとともに、これまで築いてきた人材ネットワーク等、日本の農学分野が比較優位を有していると認識しています。

今回の研究では大学と円借款を担当する国際協力銀行の戦略的連携スキーム構築のための制約や課題を明確にし、具体的なスキームを提案することを目指しています。



**略歴** 1956年生まれ。1979年東京大学経済学部卒業。同年、海外経済協力基金(現国際協力銀行)入社。以降、タイ、バングラデシュ駐在の他、円借款および民間開発投資事業を担当。2004年より国際協力銀行 開発セクター部次長。

### AAACUネットワークにおける遠隔教育のための農学カリキュラムとeラーニング・システムの開発

エディサ C. セディコール(SEAMEO SEARCA)  
客員教授第III種(任期:2004年4月1日~6月30日)

私は名古屋大学に2度目の客員教授/客員研究員として滞在中、AAACUと共同して名古屋大学が進めている、カリキュラム開発とeラーニング・プロジェクトの第2段階の仕事に取り組みました。

(内容:AAACU加盟校の農学カリキュラム中から効果的なプログラムの吟味と特長づけ、コースと学部のカタログ素案原稿の作成など)。

また、名古屋大学のeラーニング・トレーニング組織委員会の支援と、2004年9月に開催される第15回AAACU

隔年会議の準備のため名大チームの一員として活動しました。

今回、名古屋大学へ招聘頂いたことにつき、ICCAEと生命農学研究科に深く感謝いたします。私のささやかな寄与がAAACUネットワークにとって有益なものであることを、願っています。



**略歴** 1956年フィリピン生まれ。1976年サン・ジョセ・レコルトス大学卒業。セントロ・エスコラー大学(フィリピン)より修士学位(1989年)および博士学位(1996年)を取得(公共管理)。サン・ジョセ・レコルトス大学教員として勤務後、1977年~1979年ヴィサヤス州立農業大学勤務。1993年プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)海外交流教員。2000年11月~2001年1月ICCAE客員研究員。1988年~今日まで:SEAMEO SEARCA(東南アジア文部大臣機構高等教育研究地域センター)社会人教育部職員(現在部長)。

### AAACUの遠隔教育用eラーニング・システムの開発

陳 姿伶(台湾・国立中興大学)  
客員研究員(任期:2004年7月16日~10月15日)

私は、ICCAEの客員研究員として、AAACU-名古屋大学間のeラーニング・プロジェクトの共同研究に携わりました。今回の滞在期間中、私はeラーニング・システムの試行に向けて、9つのコースにつき、学習者を支援するソフト環境整備のための開発を行いました。具体的には、コース受講案内、コース登録ガイドライン、WebCT vista TM学生用ユーザーガイド、プロジェクトWeb頁の作成です。

私が本センターで過ごした3ヶ月間は、いろいろな意味

でとても素晴らしいもので、ICCAEの教職員や生命農学研究科の教員の皆さんは、様々な面で一貫して私の仕事を支えてくれました。

また、日常生活面では、ここでの生活は面白くて大変楽しいものでした。そうした忘れがたい、実り豊かなご協力をいただいたことに、心からお礼を申し上げます。



**略歴** 1972年台湾生まれ。1994年国立台湾大学卒業。ペンシルバニア州立大学(米国)で修士学位(1997年)および博士学位(1999年)を取得(成人教育)。2000年国立中興大学助手に採用(農業普及教育研究所)。

## 2004年度農学国際センターのオープンセミナー開催記録(9月まで)

回数	日時	テーマ	講師	所属	参加者数	備考
第1回	5月18日	開発プロジェクト実施で見落とされがちなポイント—応用されない理論—	野田直人氏	JICA長期専門家;チーフ・アドバイザー・セネガル総合村落林業開発計画	23名	
第2回	6月17日	地球温暖化対策への提案—熱帯での植林と炭化利用—	沖森泰行氏	株KANSO 生物環境研究所主任研究員	20名	
第3回	7月13日	マラウイの畜産振興を妨げる問題点と改善のための展望	Prof. M. W. Mfitilodze	マラウイ大学農学部 助教授	19名	
第4回	8月23日	アフリカ南部のナミビア半乾燥地帯における稲作の可能性	Dr. Luke Kanyomeka	ナミビア大学農学部 講師・作物学科長	18名	
第5回	9月16日 17日	遺伝子組み換え作物の社会的受容—インドにおけるBtワタに関する論争—	山口富子氏	ミシガン州立大学 社会学部	75名	つくば市及び東京都(独農業生物資源研究所等)と共催